

第三 南部佛印進駐

一、南部佛印進駐前ニ於ケル日佛關係

北部佛印進駐後日佛印間ノ政治的經濟的關係ハ逐次緊密トナリ昭和十六年五月九日ニハ佛印ト第三國トノ間ニ於ケル一切ノ政治的軍事的不協力ニ關スル議定書(別紙第四)調印セラレ次テ五月六日ニハ日佛印經濟協定カ成立シタ然ルニ米英蘭支ノ政治的經濟的及軍事的對日包圍態勢逐次加重セラレ之カ對抗措置トシテ已ムナク南部佛印進駐ノ實現ヲ見ルニ至ツタノテアル

二、對佛交涉及進駐ノ經過

南部佛印進駐ニ關シテハ昭和十六年六月十二日ノ連絡會議ニ於テ一應廟議ノ決定ヲ見タカ松岡外相ノ意見ニ依リ之カ正式決定ハ六月二十五日ニ延期セラレ尙七月二日御前會議ニ於ケル獨「ソ」開戦ニ伴フ國策決定ニ方リ之ヲ再確認セラレタ

交渉ハ駐佛加藤大使ヲシテ直接「ヴシー」政府ニ對シ行フコトトシ  
之ニ關スル訓電ハ七月十二日發セラレ十四日交渉ヲ開始シ二十二日  
「ヴシー」ニ於テ大ナル波瀾モナク日佛印共同防衛ニ關スル諒解ノ  
成立ヲ見ルニ至ツタ 右ニ基ク現地細目交渉ハ大本營直機關タル澄  
田機關長ト佛印政廳トノ間ニ七月二十三日開始セラレ翌二十四日成  
立シタ

我方ハ七月二十四日駐日獨伊大使ニ對シ又翌二十五日駐日英米大使  
ニ對シ日佛印共同防衛協定成立ノ旨ヲ通告シタ  
尙日佛印共同防衛議定書（別紙第五）ハ七月二十九日正式ニ調印セ  
ラレタノテアル

進駐軍隊ハ七月十四日ヨリ乘船地廣東ヲ出發シ逐次海南島ノ三亞ニ  
集合シ二十二日其全部ノ集結ヲ終リ二十二日交渉成立ニ伴ヒ翌二十  
三日進駐ニ關スル命令（別紙第六）發令セラレ輸送船團ハ二十五日  
三亞ヲ出發シ一部ハ七月二十八日「ナトラン」ニ主力ハ翌二十九日

「サンジャック」ニ平和裡ニ上陸シタノテアル

### 三、南部佛印進駐ニ關スル獨（伊）ノ策謀

前記ノ如ク南部佛印進駐ハ獨「ソ」開戦前ニ於テ一應廟議決定ヲ見  
タモノテアツテ獨「ソ」開戦ノ新事態又ハ獨（伊）ノ意圖トハ何等  
ノ關係モナク日本ノ自主的要請ニ基キ決定セラレタモノテアル  
我方ハ對佛交渉ニ方リ獨ノ斡旋ヲ希望シ大島駐獨大使及「オット」  
駐日獨大使ヲ經テ獨側ニ之ヲ通シタノテアルカ獨外相ハ「ヴシ」  
政府ニ對シ強イ要求ヲ提示シ兼ヘル事情アリトテ之ヲ拒絶シ來ツタ  
ノテアツテ交渉ハ全ク加藤駐佛大使ト「ヴシ」政府トノ直接交渉  
ニ依リ行ハレタモノテアル

### 第四 開戦後ニ於ケル日佛印關係

對米英開戦ト共ニ日佛印共同防衛議定書ニ基ク日佛印軍事的協力關係  
ハ一段ト強化セララルコトトナリ

昭和十六年十二月八日現地軍當局ト佛印政廳トノ間ニ日佛印軍事協定